

神坂達成 かみさか たつあき



6月議会の取組
質問ダイジェスト

令和3年6月定例会報告(6月9日~7月2日)

ワクチン接種の迅速化へ総力あげよ!

皆さんこんにちは、市議会議員の神坂達成です。6月議会では代表質問、保健福祉委員会、市長への緊急要望等を通して様々な視点からワクチン接種の迅速化に取り組んで参りました。具体的には、「在宅医療・在宅介護者の訪問接種の適切な推進」、「接種券の迅速な発送体制への改善」、「基礎疾患・障がい

を有する現役世代への早期ワクチン接種」、「キャンセル方法とキャンセル待ち制度の創設」、「コロナの長期化による困窮者支援・孤立防止対策(児童虐待・配偶者からの暴力・若年者及び女性の自殺防止・うつ・ひきこもり・孤独死)の強化について」、「学校におけるコロナワクチンの集団接種について」等々です。また、高齢者へのワクチン接種がひと段落すると次は現役世代へのワクチン接種が始まります。ですが高齢者と決定的に違う点は、土日の接種が中心になるということです。この点についても「土日を中心とした集団接種会場の増設と大規模化」について市の姿勢を質しました。

SNS誹謗中傷・人権侵害、支援体制の拡充を!



近年、SNSは身近なコミュニケーションツールとして幅広い世代に浸透しています。誰でも気軽に自分の意見を表明することができる反面、利用者が匿名による情報発信が可能となることから、個人に対する誹謗中傷や、プライバシーの侵害、人権侵害等が発生しています。本市においては専門の相談窓口がないことから支援体制の拡充を求めました。答弁では、市のHPで国の相談窓口について記載するとともに周知に務めるとの見解が示されました。実現に向け引き続き取り組んでまいります。

3歳児の視覚検査に屈折検査の導入を!

こどもの目の機能は6歳までにほぼ完成すると言われています。日本眼科医学会によると、3歳児における弱視の有病率は2%で、大部分の弱視は3歳児健診で早期に発見できれば就学前までに治療することができるとされており、早期発見・早期治療が重要です。

現在、さいたま市の視覚検査では、ランドル環を用いた視力検査となっています。このため目の異常の気づきが遅れた場合、手遅れとなってしまうことが危惧されます。事実、既に屈折検査を導入している他都市とデータを比較してもさいたま市の要治療者の発見率は低くなっています。このことから3歳児健診における屈折検査を活用したスクリーニングの導入を求めました。答弁では、導入に向けた前向きな答弁が示されました。



※詳細な内容と答弁はHPにて公開しています。興味のある方は是非ともご覧ください。

